



八王子支社豊田運輸区で発生した

人間破壊の人事異動

人間破壊の人事異動が行われるまでの経過

● 駅での就業が心身状態の悪化と診断

- ・組合員Aさんは、駅での人間関係で心身状態に異常が発生し、駅での就業が困難
- ・保健師や産業医に相談

【当時の保健師・産業医の話】

- ・心身状態の悪化は駅という環境・働き方が原因
- ・解決のためには環境や働き方を変えなくてはいけない



● 車掌職場へ異動、就業環境の変化で心身状態が良好へ！

- ・運輸区へ異動し、心身状態は良好へ！
- ・交番順序を勘案しながら持病の治療に専念
- ・「駅での心身不調」「持病」を産業医に相談
- ・自己申告書に記載、面談でも報告

● 持病に向き合いながら、充実感と向上心を持って車掌業務を行う

● キャリアプランは車掌の「技術指導担当」と「車掌指導」と設定

● 5月13日の退勤時間に区長と副区長が待ち構え、突如、駅への異動の話がされる

管理者 「サラリーマンなんだから、人事なんだから、それが無理なら自営業をやるしかない」

組合員 「人生が壊されてしまう」「駅に出勤できるとは思えない」「出勤できない」

◆ 組合員 A さんは、駅での心身状態の異常がフラッシュバック

「生きていける自信がない」と精神的に追い込まれ、出勤できない状況となり6月2日まで会社を休む



● 6月3日、久々の乗務となり添乗指導で乗務

● 乗務途中に指令から、区に戻るよう指示。区に戻ると区長・副区長より事前通知が手交される

● 突然のことで持病の混乱症状が発症、その症状を見た管理者は…副区長「また演技みたいにして！おかしいふりをするのはやめよう。都合いいな」と発言。組合員 A さんが駅では働けないと必死に訴えるも、区長「私は異動の指示を受けて紙を渡すのが仕事」「病気のことには不服申し立ててればいい」「何があっても事前通知を渡す」と述べた。混乱症状が出る組合員に対し管理者は…区長「なんだ！その態度は！」副区長「都合がいいな！」と恫喝。その後、当該組合員は出勤ができない状況に追い込まれ、病気休職に…

人間を破壊する異常な人事異動は許さない！

職場から連帯したたたかいをつくりだそう！